

二本桁階段 TWO BEAM 施工説明書

この度は、弊社製品をご採用いただきましてありがとうございます。
 本製品は、一般住宅内装用の製品ですので、屋外には使用しないでください。
 施工の際には、必ず本説明書をお読みのうえ、正しい方法で施工してください。

◆表示内容を無視して誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分します。

警告 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷に結びつく可能性のあるもの。

注意 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害または、家屋・家財などの損害に結びつくもの。

◆お守りいただく内容の種類を次の記号で区分します。

強制 この記号は製品の取り扱いにおいて、必ず指示に基づく行為をおこなわなければならないもの。

注意 この記号は製品の取り扱いにおいて、指や手を挟まれないよう注意するもの。

禁止 この記号は製品の取り扱いにおいて、その行為をおこなってはいけないもの。

注意 この記号は製品の取り扱いにおいて、注意すべきこと。

警告

強制 金具に同梱されている取り付けビスやボルト、その他部品は本製品の専用金具となります。
 本製品の施工以外にこれらの金具を使用した場合、部品の脱落や破損等が発生し、重大事故につながる可能性があります。
 本製品以外にこれらの金具を使用したことによる如何なる事故や不具合等に対しては、責任を負いかねますのでご注意ください。

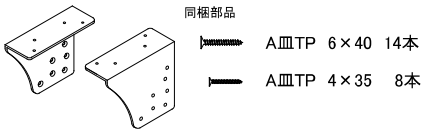
◆施工上のご注意

- 強制**
- 必ず同梱のねじをご使用ください。
 - 木ねじは必ず下穴をあけてから締め付けてください。

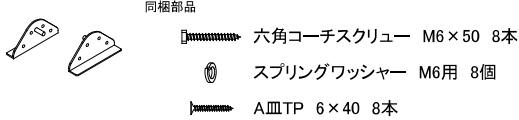
- 施工には下記工具が必要になります。
 - ・インパクトドライバー
 - ・プラスビット
 - ・木工ドリル (φ3~4, φ4~5)
 - ・六角ソケット (10mm)
 - ・電動ドライバー用L型ビット
 - ・ゴムハンマー

◆部品一覧

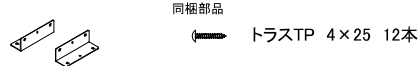
●踏板固定金具・・・段数分



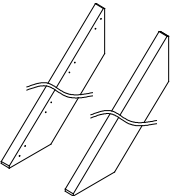
●桁上部 固定金具・・・1箱



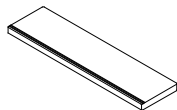
●桁下部 固定金具・・・1箱



●桁・・・2本



●踏板・・・段数分



●金具用タッチアップ塗料、容器・・・各1個



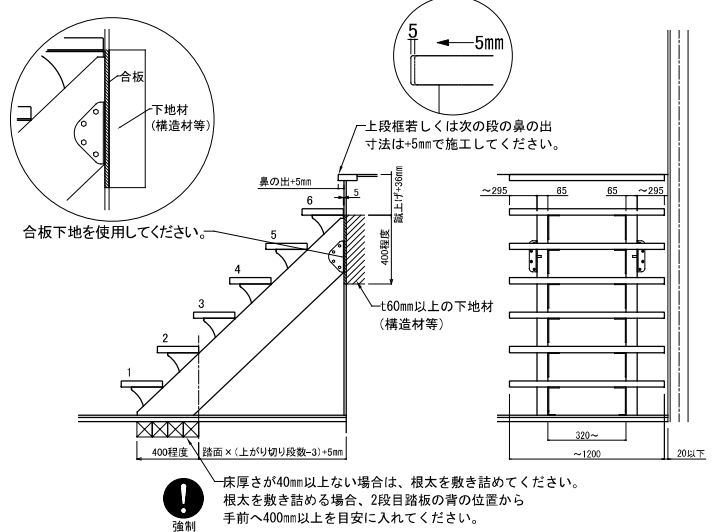
※桁上部の固定金具の中に同梱されております。

●踏板固定用接着剤・・・1個



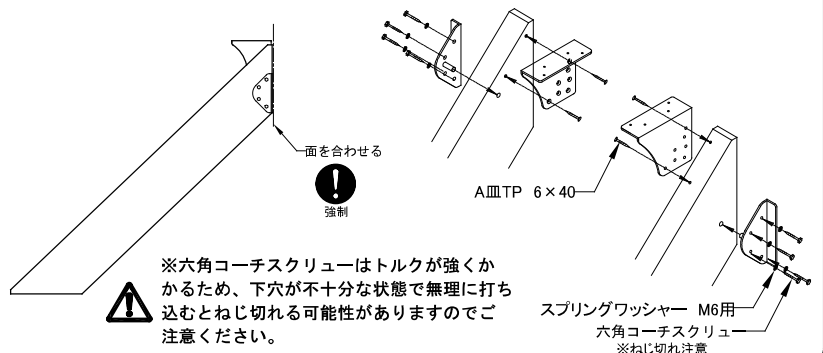
◆施工前の準備

- 強制**
- 壁、床には金具を取り付けるための下地材 (構造材等) を必ず事前に入れておいてください。
 - 桁が床に接する部分の直下に、基礎や束を設けて荷重を受けるようにして下さい。
 - 桁が壁に接する部分は合板下地を使用してください。下地材が石膏ボードの場合、表面が凹む可能性があります。
 - 上段框若しくは次の段の踏板の鼻の出寸法は必ず+5mmで施工してください。手摺が取り付けられなくなる可能性があります。
 - 上段框若しくは次の段の踏板の鼻の出寸法が+5mmとなりますので、「(掛幅-5mm) ÷ 段数」で踏面を算出してください。
 - 壁と踏板端部の隙間は20mm以下にしてください。
 - 角の出は295mm以下、桁内々寸法は320mm以上確保してください。



■施工手順① 金具の事前取り付け

- 強制**
1. 桁の上下を確認し、桁に上側の桁固定金具を取り付けて下さい。金具のピンを桁の穴に挿し込み、**下穴 (φ4~5程度)** を開けてから六角コーチスクリューで固定してください。桁と金具の面がズレないように注意してください。
 2. 最上段の踏板固定金具を同梱のタッピングビス2本で仮固定して下さい。



※六角コーチスクリューはトルクが強くなるため、下穴が不十分な状態で無理に打ち込むとねじ切れる可能性がありますのでご注意ください。

スプリングワッシャー M6用 六角コーチスクリュー ※ねじ切れ注意

■施工手順② 桁の取り付け

1. 重量に注意し、桁を壁に固定してください。最上段の踏板固定金具の高さが下図の位置になるように、調整してください。
2. 下側の桁固定金具を取り付けて、桁を床に固定してください。上側と同じ位置になるように調整してください。

※桁が長尺になる場合は重量物になりますので3~4人で作業をしてください。

2. 桁と床の固定

※内側に付けてください。

トラスTP 4×25

1. 桁と壁の固定

※反対側の桁も同様に固定してください。

A皿TP 6×40

蹴上げ36mm(踏板厚)

蹴上げ36mm(踏板厚)

桁の間の距離が上側と同じになるように調整してください。

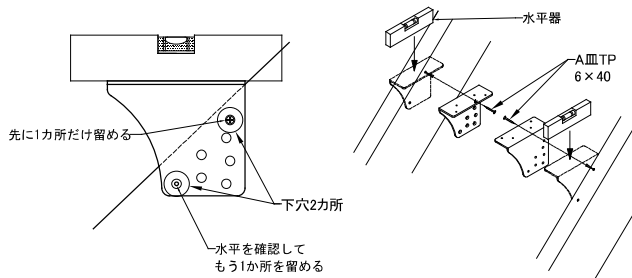


- ※1. 下側の桁固定金具を事前に桁に取り付けると、桁を設置する際にフロアに傷をつける可能性がありますのでご注意ください。
- ※2. わじは強固に締め付け、ガタつきが無いか確認して下さい。

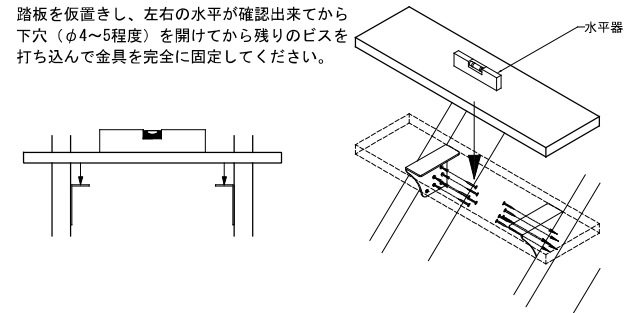
■施工手順③ 踏板固定金具の取り付け

1. 桁に開いている下穴を参考にして、金具を桁に固定してください。この時、下記の手順で水平を確認しながら固定してください。

2カ所ある下穴の1カ所だけにビスを打ち込んで仮固定し、水平を確認しながらもう1カ所を固定してください。



踏板を仮置きし、左右の水平が確認出来てから下穴(φ4~5程度)を開けてから残りのビスを打ち込んで金具を完全に固定してください。



■施工手順④ 踏板的取り付け

1. 踏板固定金具の天面(踏板と接する面)に同梱の接着剤を塗布してください。※接着剤は5~10分程度で初期硬化が始まりますので、必ず1段ずつ作業を行ってください。

キャップの先端をカット



穴を避けてはみ出さない程度に塗布してください。

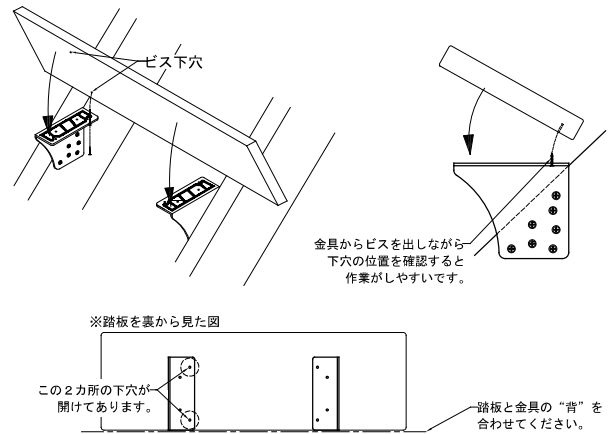


接着剤の初期硬化は5~10分程度ですので1段ずつ作業を行ってください。

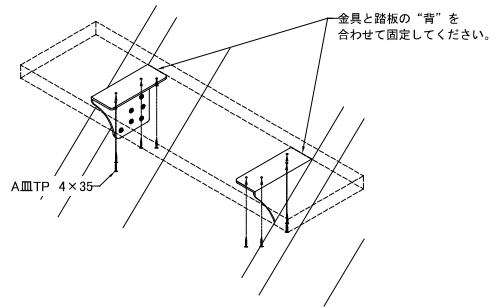


塗布量に注意してください。塗布量が多いと踏板を付けた時にはみ出すことがあります。

2. 位置をよく確認して踏板を置いてください。踏板を置いてから大きくずらすと接着剤がはみ出してしまうため、位置をよく確認してから置いてください。踏板を置くときはビス下穴の位置を参考にしてください。



3. 踏板の位置が決まったら残りのビスを打ち込んで下さい。



接着剤がはみ出している場合は、硬化する前に除光液やラッカー薄め液などで取り除いてください。



接着剤が完全に硬化するまでは踏板の端に乗らないでください。※約24~48時間で実用強度に達します。



◆完成後、ガタつき等の異常がないか確認してください。金具の固定が不十分な状態での昇降はしないでください。

■ボルト・座金のタッチアップについて

コーチスクリューの頭部分やバネ座金は締め付けた時に色が剥がれる場合があります。必要に応じて締め付け後に同梱のタッチアップ塗料をご使用下さい。

※タッチアップ塗料は桁固定金具の箱に同梱されており、チューブ入りの塗料を容器へ入れてご使用ください。塗料を保管する場合は必ずチューブに入った状態で保管してください。容器に入れた状態で保管すると塗料が固まることがあります。



必要に応じて塗ってください。

●商品に関しましては、お近くの営業所までお問い合わせ下さい。

本社



セブ工業株式会社

TEL 0574-28-7800 FAX 0574-28-1630

東京営業所 〒164-0012

東京都中野区本町2-2-2 YSビル 8F
TEL 03-6859-0700 FAX 03-6859-0702

中部営業所 〒505-0016

岐阜県美濃加茂市牧野1011
TEL 0574-24-7781 FAX 0574-28-6191

大阪営業所 〒579-8027

大阪府東大阪市東山町5-8 龍野ビル4F
TEL 072-988-5320 FAX 072-988-5321

九州営業所 〒812-0011

福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目27-25
第二岡部ビル6F B号室
TEL 092-260-9617 FAX 092-260-9618

東北事務所 〒984-0048

宮城県仙台市青葉区二日町13-18
ステーションプラザビル707号室
TEL 022-217-6465 FAX 022-217-6466

浜松事務所 〒435-0038

静岡県浜松市南区三和町295-1 グリーンパーク101
TEL 053-411-0701 FAX 053-461-8901

長野事務所 〒390-0852

長野県松本市島立990-1
TEL 0263-47-8516 FAX 0263-47-8517